

「令和2年度 第2回大月みらい協議会」

議 事 概 要

日 時 令和2年12月4日（金）午後7時から午後8時20分まで
場 所 大月短期大学 岩殿ホール
出席者 委員14名（欠席7名）
委員 小俣理美、長田弘、佐藤總明、志村淳、志村賢二、白川恵子、白川太
鈴木龍子、中島啓介、福嶋尚美、矢光重敏、山口隆太郎、武者稚枝子
渡邊光明
（※敬称略）

【事務局】 井上企画財政課長、久保井リーダー、堀内、後藤

1. 小俣議長あいさつ

皆様こんばんは。皆様お忙しいところ、出席いただきありがとうございます。

コロナの状況ですが、これから郡内地区が最大のクラスターになってくると思います。昨日の感染者の数字だと、県内で10数人出ているそうなので、今までで一番多かったと聞いています。

これからの時代は「with コロナ」で隣にコロナに罹った人がいるという感覚で過ごしていかなければならないと思っています。そのような状況下では、コロナに罹ってしまった人など、差別なく普通に接していかなければならないと思っています。

この会議の中で、接触を防ぐことができるリモート会議のデモンストレーションを行いますので、不得意な方もいらっしゃるかと思いますが、これからの将来を考えると是非利用してほしいと思います。皆様、よろしく願いいたします。

2. 議事

（1）令和2年度第1回会議概要について

- 会議概要を市ホームページへ掲載することについて審議を行い、市ホームページへ掲載することについて承認されました。

（2）第1期大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について（依頼）

- 事務局より、委員の皆様へ、第1期大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について依頼があり、第1期総合戦略全般及び令和元年度に取り組んだ国の交付金【地方創生推進交付金】を活用して取り組んだ事業について、12月25日（金）までに「大月みらい協議会 検証意見シート」に記載し提出していただきたい旨の説明がありました。

(3) グループ会議 (グループ活動報告書の提出依頼)

- 各グループで議論及び取りまとめを行い、グループリーダーが令和3年1月15日までに事務局へ提出していただきたい旨の説明がありました。
- その後、「JOB」、「ふるさと学童クラブ」、「情報発信」の3つのグループに分かれて会議が行われました。

(4) リモート会議のデモンストレーションについて

- コロナ禍において、社会では、テレワークやパソコン、スマートフォンを活用したリモート会議の機会が増えており、今後、みらい協議会もリモートで会議を開催することもあるのではないかとということから、山口副議長より、リモート会議のデモンストレーションを行っていただきました。
また、お試しということで、グループ会議の内容をリモートでグループから発表していただきました。

< JOBグループ >

【白川委員】

JOBグループの報告をさせていただきます。

まず、本日メンバーが2人しかおりませんでしたので、なかなかまとまらなかったです。

活動報告書の「1 事業概要」「2 実施メンバー」「3 活動内容」は大体決まっておりますが、「4 事業を振り返って」では1年目は活動が頻繁に行えたのですが、2年目はコロナによってなかなか活動ができなかったということが挙げられます。

1年目は、各中学校で「夢カード」の作成や「職業体験」を行いました。大月東中学校においては、大変ご好評いただいて毎年改善しながら行おうと思っていたのですが、今年はコロナということで活動できなくなり、大変残念でした。

「5 事業の課題」ですが、コロナで活動ができなかったということが一番です。

コロナとはこれから付き合っていかなければならないわけですので、考えているのは、企業の紹介や職業講話もリモートでやれないかと思っています。来年度から小学生・中学生にパソコンが一人一台支給されるとのことですので、企業へ職業体験に行くのではなく、企業がそれぞれ動画を作って、その動画を企業の紹介として中学生に見せて、なおかつその動画をどこかのSNSとかに発信してもらうことを考えています。そうすることによって、企業のPRにもなるし、子供たちだけではなく、大月市民も企業を知ることができると思います。

これをどうやってやればいいのかということですが、情報発信グループに協力いただいて、さらに可能であれば、短大生が動画作りとして、経営者や社員にインタビューをして、「何が大変なのか、夢は何なのか」など聞いてもらって、発信していければいいなと思っています。

ですから、事業の課題というのは、コロナで学校に入ることもできないということで、そ

れを解決していくには、先ほど述べたようなことをすべきではないかということ話し合いました。以上です。

<ふるさと学童グループ>

【矢光委員】

昨年度はすべての学童クラブでイベントを行いました。今年度はコロナで何もできなくて、学童クラブや市役所も含めて、「あまりイベントをやらないでくれ」というような雰囲気があります。

これからどうしていこうかと考えたところ、リモートではなく、いろんなコンテンツを作ってそれを学童クラブに提案して、それを行ってもらいたいことをしたいです。我々とすれば、本来であれば学童クラブの中に入って子供たちと触れ合って、地域の方たちも巻き込んで活動したいのですが、それができないのであれば、コンテンツを提供して子供たちに喜んでもらおうと考えました。

リモートではなく、違う方向で考えていきたいと思っています。

あとは、グループ内の委員の皆様の見解をお聞きしながら、報告書のまとめをしていきたいと考えています。以上です。

<情報発信グループ>

【中島委員】

「大月仕事人」の広報への掲載は、大月市立図書館の仁科館長、短大学長の柳沢先生については広報にすでに掲載しており、長谷部酒店の長谷部さんは、広報2月号に掲載予定であります。あとは、吉村味噌糰子店の上田さんの取材も完了しております、広報3月号に掲載予定となっております。あとは、大月ロハス村の佐々木さんに、来年1月頃取材をする予定であります。

その他に、過去の「大月仕事人」の記事を大月市のホームページに掲載しています。是非ご覧になっていただきたいと思っております。

その他の活動としては、大月市観光協会さんと連携協定ではないですけれども、情報発信グループと連携していこうとする関係になりました。「大月みらい協議会情報発信プロジェクト」という名前で活動をしていこうと思っています。簡単に言うと、大月の良いところであったりだとか、大月市民へ発信していくための写真だったりを観光協会に提供して発信してもらおうとする体制を作りました。

そのプロジェクトには山口先生の「地域実習」のカリキュラムの中にも組み込んでいただいております、学生さんが取材をしてもらったり、記事を書いてもらったりと、そのような関係を築きました。

残念ながら、情報発信グループの私たちが、発信したいネタをまだ集められておりません。ここの部分が課題かなと思っています。

あとは、我々の情報発信グループだけではなくて、他のグループの皆さんにも情報の提供をいただきたい。観光協会に提供したからといって、全部が全部掲載されるわけではありませんが、観光協会は大月市をPRする記事を求めているそうですので、心当たりのある情報をお持ちでしたら、情報発信グループのメンバーにご提供ください。

今後の課題ですが、他2つのグループの情報を発信できていないということです。素晴らしい活動であるので発信していきたい思いがあります。以上です。

(5) その他

- 次回定例会の日程は、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、議長、副議長と日程調整をさせていただき、あらためて委員の皆様にもメール及び郵送にてご案内をすることとなりました。